

栃木県生協連・2009年度4月定例報告

2009年4月15日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 3月活動日誌

| 日付 | 曜日 | 予定 |
|-------|----|------------------------------------------------------|
| 3月4日 | 水 | とちぎ消費者ネットワーク・栃木県くらし安全安心との意見交換会、 とちぎ食の安全ネットワーク・全体会 |
| 3月9日 | 月 | 協同組合研究セミナー |
| 3月10日 | 火 | 県社協・地域共生パートナーシップ会議 |
| 3月11日 | 水 | 県災害ボランティア研修会 |
| 3月16日 | 月 | 県マーケティング協会・総会、県市町村合併審議会 |
| 3月17日 | 火 | 県連・福祉事業研修交流会 |
| 3月18日 | 水 | JA食と農のフォーラム、県・消費生活安定対策審議会、生協総研・評議委員会 |
| 3月19日 | 木 | 県連・石油部会 |
| 3月23日 | 月 | 宇都宮大・食環境農のネットワーク、労福協・福祉まつり実行委員会 |
| 3月24日 | 火 | 県・森づくりセミナー、福祉センター・理事会、とちぎ消費者ネットワーク・全体会 |
| 3月25日 | 水 | 県連と県くらし安全安心課との意見交換会 |
| 3月26日 | 木 | 労福協・幹事会、地産地消を考える会 |
| 3月31日 | 火 | 県連・40周年企画委員会 |

(2) 3月25日くらし安全安心課と栃木県生協連の意見交換会

25日県くらし安全安心課の金田課長補佐（総括）、石川課長補佐、鈴木主事の3人の方と生協連から竹内会長、高橋副会長、地域・とちぎコープ中田執行役員、とちぎよつ葉生協出居専務、職域・富士重工木目沢専務、宇都宮大学秋元専務、くらし部会から青木理事、鎌柄で意見交換を行った。

県からは、生協の課題について問題提起をいただき、定款改正、生協運営のガバナンス（監事の役割など）、員外利用、登記、2008年度の決算関係書類など指摘があった。消費者課題では、消費者行政の充実の為に生協への期待も出された。

生協からは、参加生協の現状と事業上と組合員活動の取り組み内容が報告され、実際上の厳しさや組合員の声を受け止めた取り組みを知っていただく機会ともなった。

急な設定でもあり参加者は限らせていただいたが、率直な意見交換ができた。

(3) 県連創立40周年事業企画委員会

31日2回目の企画委員会では、組合員向け企画として10月に講演会を開催する計画。また、1月下旬に賀詞交歓会に替えて40周年を祝う会を開催する計画、40周年史（2000～2009年度の振り返り）を作成する計画が確認された。3点について、5月理事会前に第3回を開催し、具体化した案を県連理事会に提案することとした。

(4) 3月の部会・委員会

17日福祉事業委員会主催の「福祉研修交流会」が開催され、(神奈川)生活クラブ生協が設立されたいきいき福祉会の小川泰子専務理事から、ラポールグループの取り組みを報告いただいた。藤沢の第1特養ラポール藤沢、地域共生型の複合施設ラポール城南、見守りを中心とした住居系の施設のサポートハウス、横浜の第2特養ラポール三ツ沢の開設と、人権を基本にしたケア理念と実践の報告をいただいた。1991年から実践経験を重ねられてきただけに、それぞれの取り組み内容に説得力を持たれている報告をいただいた。県内からは、5分野の方から介護の実践報告をいただき、ウィークデーの午後にも関わらず、約50名の参加で研修交流会を持つことができた。

(講演されるいきいき
福祉会の小川泰子専務)



19日08年度第8回目の石油部会が開催され、市況の変化の中3月26日からレギュラーガソリン(105円→106円)等の価格引き上げが行われた。

(5) 食の安全の取り組み

4日とちぎ食の安全ネットワーク全体会では、宇都宮大学の宇田靖教授から「食品のかびとかび毒」の特別報告をいただき、身近なかびについて学習した。

2008年度の振り返りと2009年度の計画づくりに1次討議がされた。報告としては、栃木県食の安全安心・・・条例に基づく施策提案を行ったこと。(後日、回答をいただき基本的に提案を受け止めていただくことができた。)また、宇都宮市食品安全推進計画案へのパブコメ、更にネットワークとして栃木県食品衛生監視指導計画へのパブコメ骨子案も提案し、県に提出することとした。

とちぎ食の安全ネットワーク
(特別報告される宇田教授と
質問する参加者)



(6) 消費者課題について

3日とちぎ消費者ネットワーク・幹事会メンバーで、栃木県くらし安全安心課との意見交換会を開催することができた。県からは同課金田課長補佐(総括)に参加いただき、県の基本的な考え方、施策の方向性(商品テストは国へ集中し、県の事業者指導等の体制の強化、自治体の相談員さん等への研修・指導の充実・強化など)について報告いただいた。ネットワークへの期待としては、消費者被害防止への啓発、県内自治体への

働きかけなどの継続について出された。国の地方消費者行政の活性化に取り組みの流れの中で、有意義な意見交換ができた。

24日とちぎ消費者ネットワーク・全体会では、1月29日消費者シンポジウムの振り返り、2008年度の振り返りと2009年度計画素案について、1次協議がされた。

(7) 地産地消推進の取り組み

26日地産地消を考える会第4回目を開催し、2008年度の振り返りと次年度に向けた方向性が論議された。地産地消は県でも実行委員会が開催され、各自治体でも同様の取り組みと、教育分野の食育活動や地産地消の給食の広がり、流通分野でも地元野菜コーナーなども一般化しつつあり、生協においても地産地消は職域生協も含め、取組みまれて来ていることなどから、これまでの役割を評価しつつ当面「地産地消を考える会」の活動は休むこととし、各構成団体に推進していくことが確認されました。

(8) JA栃木グループ及び宇都宮大学農学部での取り組み

18日JA栃木グループの「食と農を考えるフォーラム」が開催され、生協連関係で約30名の参加があった。メインの講演は、料理愛好家の平野レミ氏、二人目は講師は、JA全農いばらきのポケットファームどきどきの小泉所長、その他JA食のプロジェクトの報告がされた。約300名規模の参加で、講師の楽しい話が印象的だった。

23日宇都宮大学農学部主催の「とちぎ食・環境・農のネットワーク」3回目が開催された。那珂川流域の里山生態系サービス評価の報告が森林科学科の大久保先生からされた。里山の再評価と里山再生への貢献がテーマで研究がされた。茂木町、那須烏山市、那珂川町における大学との連携による取り組みが興味深かった。

また、その他農商工連携によるこの間の取り組みの実践例、宇都宮大学農場で栽培された麦焼酎やお米を使った清酒の紹介もあった。宇都宮大学生協での販売も開始されたと伺った。

(9) 4～6月の課題

1. 2009年度第1四半期の取り組みの具体化と推進
2. 4～6月部会活動（石油部会、職域部会、暮らし部会、福祉事業委員会）
3. 4～6月ネットワーク活動（食の安全、消費者、食と農つなげる会など）の推進
4. 県連第40回通常総会の成功
5. 改正生協法に沿った総会準備や代議員選出、役員選出手続き、監査の準備

(4月～6月の主な取り組み・日生協・行政等含む)

栃木県生協連
2009年4月10日現在

- 4月29日(水) 11時～13時、名称 労福協・福祉まつり
主催 栃木県労福協
対象 希望者
場所 宇都宮市・みずほの自然の森公園
- 5月12日(火) 13時半予定、名称 とちぎ食の安全ネットワーク・学習会
テーマ 仮題・「クローン牛・豚と安全性評価について」
主催 とちぎ食の安全ネットワーク
対象 とちぎ食の安全ネットワークメンバーと希望者
場所 とちぎアグリプラザ
- 5月21日(木) 13時半～、名称 栃木県生協連・定例理事会
主催 栃木県生協連
対象 県連理事会メンバー
場所 とちぎ福祉プラザ
- 5月26日(火) 12時～、名称 コープみんなでエコ2009
主催 日本生協連中央地連・実行委員会
対象 日本生協連中央地連・会員生協
場所 池袋・サンシャインシティ
- 6月1日(月) 10時～11時半、名称 栃木県生協連暮らし部会・拡大学習会
テーマ 仮題・「今日の食料・農業問題」
主催 栃木県生協連・暮らし部会
対象 構成メンバーと希望者
場所 とちぎアグリプラザ予定
- 6月18～19日(金) 13時～、名称 日本生協連・通常総会
主催 日本生協連
対象 代議員、傍聴者、役員など
場所 品川
- 6月26日(金) 14時～16時半、名称 栃木県生協連・第40回通常総会
主催 栃木県生協連
対象 代議員、傍聴者、役員など
場所 パルティ